平成２９年６月５日

学校法人　立田学園　立田幼稚園
平成２８年度　自己評価結果報告書

学校法人 立田学園
理事長　上村 龍渕

１．はじめに

平成 28 年度の教育活動及び園運営状況について立田幼稚園の園長及び教諭は自己点検を実施した。

理事長は評価結果を分析し、下記の通り「平成２８年度自己評価公表シート」としてまとめた上、ホームページに掲載する事とした。

２．平成２８年度自己評価公表シート

評価分野	自　己　分　析
１．教育計画	従来通り偏りのない保育、体験学習、遊びを中心としたカリキュラム等により、本園の教育目標・方針に沿った教育計画を立てている。教育理念や教育目標を体系化し、幼稚園教育要領の意図するところをも加味したより内容のある保育計画が引き続きの課題である。前年度を踏襲する等のマンネリ化からの脱却が必要との判断に立ち、週案やクラスだより等の形式を改める事とした。
２．保育の実施と指導	一人ひとりの実情に応じたよりきめ細かな指導・援助により園児が日々充実した生活を送れるよう心掛けている。また、発達障がい児指導に配慮し、共に育つ保育を心掛けておりその効果は大きなものがある。ただ、障がいが明確には把握できず、教職員の負担も大きいため個別の指導計画等はたてていなかったが、今後、保護者と連携し、個別の教育支援計画、指導計画を作成していく事を考えている。 『安全なくして保育なし』を徹底し、幼児の心身の健康と安全には、より一層の配慮を行っていく。
３．地域・家庭との連携と支援	地域や家庭との連携や、地域からの理解は十分得られていると自負するが、園児やその家庭以外のいわゆる地域社会を含めた家庭への子育て支援はほとんど未実施状態である。新年度は未就園児向けプログラムや保護者支援プログラム等の実践に向けて具体的な一歩を踏み出したい。新制度への具体的取り組みの中でも一考し、園舎増築も活用していきたい。

４．安全・衛生管理	基本的には、最大限気遣いしながら管理に努め実践も行っており、大きな課題を抱えてはいない。ただ、事故等からの決別はあり得ないため、環境の見直しを行い、必要な改善を心がけて行く。 不審者対策についてはバス運転手等を中心に対応を心掛けており、十分とは言えないが今の所問題はない。
５．人事管理・労務管理	人事管理・労務管理は、より公正・公平に対処する事を心掛けており、魅力ある職場、働き甲斐のある職場づくりを更に進めたい。各職員の働き方も以前と比較すると大幅に改善されて来た。 しかし、従来通りの求人では新卒の学生の採用が難しい現実に直面しており、大きな課題となっている。
６．財務管理と法人管理	財務管理・法人管理とも、幼稚園を持つ学校法人としては誇り得る充実した内容と言えるが、園舎増設に伴う大幅な資金投入を行っているため今後ともより安定した管理状況のもと、幼稚園としての社会的役割を全う出来るよう努力していきたい。

３．今後の課題と将来への展望

教育内容の充実・発展を目指し、人材の配置は更に手厚く対応している。

保育計画及び実践については、過去の踏襲に頼る保育からの脱却を図っているところであり、平成２９年度も引き続きこの課題に取り組むこととしている。「指導計画」「保育内容」「保護者への発信」「環境設定」「教師の援助」など様々な方向からアプローチし、より良い保育の実践のために試行錯誤中である。

人事・財務・労務管理等は最大限善処しており、特に問題はないと言える。

地域支援について、これまでは園関係者以外への対応ができていなかったが、園舎増設によりスペースも確保できるようになるため、未就園児向けプログラムや地域の子育て支援プログラムの実践を実現させたいと考えている。